

床のお手入れの基本&コツ

部屋の汚れのほとんどはホコリです。中でも汚れやすい床は、ホコリを溜めないようにするのが基本です。まずは、こまめな掃除機がけを心掛けましょう。



フローリング

基本 掃除機をかける

板の継ぎ目に沿ってムラなく掛け、部屋のすみや板の継ぎ目はブラシなどでかき出してから吸い取りましょう。普段のお手入れはフローリングワイパーなどのカラ拭きで十分ですが、汚れが気になるときは水や家庭用洗剤で拭き取ります。

コツ

掃除機より先にモップ掛け

掃除機をかける前にフローリングワイパーや化学モップをかけおくと、舞い上がるホコリを軽減できます。

酢水でベタつきを解消

水で2~3倍に薄めた酢水を床にスプレーして布で拭き取ります。水拭きよりも汚れが落ちやすく、お酢の抗菌効果もプラス。

ワックス掛け

年に一度はワックス掛けを！ワックス掛けで、ツヤだけでなくホコリやゴミを付きにくくする効果も。ムラなく薄く掛けて、しっかり乾燥させます。



※フローリングの種類によってはワックスが通さない場合があります。

カーペット

基本 掃除機をかける

毛足を起こすような方向から掛け、向きを90度変えてもう一度掛けます。毛足に入りこんだ髪の毛やゴミはナイロンタワシで掻き出してから粘着テープで取り除きます。

コツ

定期的に拭き掃除

中性洗剤を約50倍に薄め、雑巾を浸して固く絞ります。色々な方向に拭き、水拭き、カラ拭きして仕上げます。あとは窓を開けてしっかり乾燥。

食べこぼしは泡で浮かせて

こすらずティッシュで汚れを吸い取り、泡立てた住居用洗剤を歯ブラシに取ってシミの外側から内側に向けて叩きながら浮かせます。その後、お湯を固く絞った布で拭き取ります。

ワックス掛け

重曹をまいて掃除機をかければスッキリ！寝る前にカーペットに重曹を振りかけ手でもみこんでおき、一晩おいてから朝窓を開けて掃除機で吸い取ります。



ソナエー

備えは防災の第一歩



防災のための基礎知識／春の嵐について
強風に備えましょう
安心・快適な住まいづくりのヒント
日頃の備え／車編

おすすめ
防災サイト

防災情報提供センター・国土交通省

4月19日 地図の日

日本地図を初めて作った偉人として知られる「伊能忠敬」が1800年(寛政12年)4月19日に江戸を出発し、蝦夷地の測量へ出発したのが由来となっています。自分の足で歩いて日本全国を測量し、完成したのは1815年といわれていて、とても困難な道のりだったことは想像に難くありません。この機会に日本地図に触れ、彼の偉業に思いを馳せてみては。

国土交通省が保有する防災情報を集約して、わかりやすく提供しているほか、災害対応や気象情報などのさまざまな防災情報にリンクしています。



防災情報提供センター
https://www.mlit.go.jp/saigai/bosajoho



地域防災ステーション 山形南
株式会社 櫻井建設
〒990-2339 山形市成沢西3-21-8
TEL:023-688-2632 FAX:023-688-2668
HP <http://sakurai-k.com>



弊社は「地域防災ステーション」として災害発生時に備え、テレビや照明が使える非常用電池や、近隣の皆様にもご利用いただけるトイレ等を準備しています。緊急時には一時的な避難場所としてご利用ください。



住まいに関するお悩みや
リフォーム全般、耐震診断まで
お気軽にご相談ください。

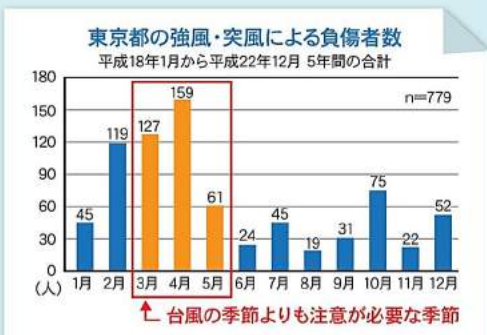


防災のための基礎知識

「春の嵐」について

「春の嵐」にご注意を

毎年暖くなる3月から5月にかけては、日本付近で急速に発達した温帯低気圧により「春の嵐」や「メイストーム(5月の嵐)」といった台風並みの暴風や猛吹雪、大雨が発生しやすい季節でもあります。この「春の嵐」をもたらす温帯低気圧は、低気圧の中心から離れたところでも風が強く吹くため、被害の範囲が広がりやすい傾向があります。屋外レジャーなどの際は特に気をつけましょう。



出典:東京消防庁調べ

「気象情報」に注意

大荒れの天気が予想されるときは、数日~1日前に気象庁から「暴風に関する気象情報」が発表されます。その後、右図のように状況に応じて「強風注意報」や「暴風警報」が強風や暴風が吹き始める数時間前に発表されます。発表された時点でまだ大丈夫でも油断せず、なるべく屋内で待避するようにしましょう。警報の発表基準は地域によって異なりますので気象庁のウェブサイトでチェックしてください。

気象情報の発表のタイミング

「急速に発達する低気圧」発生時における防災気象情報(気象台発表)

約1日程度前
暴風の可能性が高くなる

半日~数時間前

6~3時間前

暴風発生

- ①暴風に関する気象情報 警報・注意報に先立ち発表
※大雨や高波、落雷、突風などを含めた気象情報になる場合もあります。
- ②強風注意報 警報になる可能性がある場合はその旨記述
- ③暴風に関する気象情報 風の状況や予想を適宜発表
- ④暴風警報 風の強さや吹き方、最大瞬間風速など警戒を要する事項などを示す
- ⑤暴風に関する気象情報 刻一刻と変化する暴風の状況を発表

「気象情報」とは?

警報・注意報に先立って警戒を呼びかけたり、また、警報の発表中に現象の経過、予想、防災上の留意点などの解説を行ったりする情報のこと。例えば、ニュースなどで「気象庁では、〇〇に関する(気象)情報を出して警戒を呼びかけています」という形で伝えられます。



安全・快適な住まいづくりのヒント



夏の省エネ対策にも効果的

通風対策リフォーム

家の中に風を通すことで夏を涼しく。
ニオイやジメジメも解消し、人も住まいも健康にします。

窓 風を呼び込む窓



1面の窓でも効率よく風をつかまえて通風。

LIXIL 縦すべり出し窓

雨戸 防犯しながら通風



LIXIL リフォームシャッター エアリス



LIXIL 単体雨戸 探風・採光タイプ

玄関 鍵をかけたままでも外からの風を採り込む



LIXIL リシェント3

YKK AP エピソード

室内ドア 風の流れを妨げないドア



LIXIL ルーバー引戸

大建工業 ハビア



お役立ち情報 日頃の備え/車編

車で移動中でも起きるかも分らない災害。車に備えておく安心なアイテムをご紹介します。

緊急用ハンマー

緊急時に車のガラスを内側から破壊して脱出。



懐中電灯

災害で多い停電時の必須アイテム。小型で明るいモノを。



軍手

障害物を取り除くといった車を降りての作業時に。



水・食料

保存用の水や、そのまま食べられる食料を用意。



簡易トイレ

トイレが使えないのは一大事。必ず備えを。

シートベルトカッター

シートベルトを切断できる安全ツール。ハンマーや照明付きのマルチタイプが便利。

防寒シート

コンパクトで断熱効果が高いアルミタイプがおすすめ。

タオル・ティッシュ

圧縮袋に入れて小さくしておくコンパクトに。ティッシュやウェットティッシュも用意を。

救急セット

ガラスが割れてケガをした時のために、絆創膏やガーゼを。

故障や事故で動けないときなども役立ちますよ



強風に備えましょう

住まいの備え

家の周囲やベランダに置いてある倒れやすいものは、室内にしまいます。しまえない庭木やプロパンガスボンベなどはしっかり固定を。



屋根や雨戸、シャッターを点検し、補強しておきましょう。

窓ガラスには、テープや飛散防止用のフィルムを貼っておくと安心。

強風が吹いているときは

転倒・転落や、看板などの飛散物によるケガを避けるため外出はできるだけ控えましょう。

窓や雨戸、シャッターをしっかり閉めます。雨戸がない場合、窓ガラスが割れた時のためにカーテンを閉めます。

